

ストップ・ザ・交通事故

《めざせ 安全で安心な北海道》



運動の目的

交通安全を自らのことと捉え、交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーの実践が主体的に行われるよう、道民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図る。

運動の進め方

道、道警察、市町村、関係機関・団体等は、緊密に連携し、体系的かつ効果的な交通安全運動を展開するとともに、参加・体験・実践型の交通安全教育を積極的に推進する。

通年運動 7大セーフティキャンペーン

- 高齢者事故防止
- 自転車走行ルール・マナーアップ
- シートベルト全席着用
- スピードダウン
- 飲酒運転根絶
- 居眠り運転防止
- デイ・ライト実践



運動の重点

高齢者の交通事故防止

運転者の皆さんは

高齢者の横断に対応できる安全な速度で思いやりのある運転をしましょう。

家庭では

高齢者が外出するときは、車に注意して、安全確認をしっかりと行うようにひと声かけましょう。

高齢者の皆さんは①

参加・体験型の講習会などに積極的に参加して、自分の身体機能の変化を認識し、安全運転に心がけましょう。

高齢者の皆さんは②

通り慣れた道でも、油断することのないように、車に注意するとともに、夕暮れ時や夜に外出するときは、夜光反射材を着用しましょう。

地域・町内では

高齢者を見かけたら、ひと声かけるとともに、安全な横断を手助けしましょう。

凍結路面等のスリップによる交通事故防止

運転者の皆さんは

路面状況が刻々と変化することを認識し、スピードを控えた運転をするとともに、早めに冬タイヤに交換しましょう。

家庭では

冬道の危険性や特徴について話し合い、外出をするときは、事故防止を呼びかけましょう。

学校では

雪道、わだち、凍結路面などの危険について理解させ、安全な歩行について指導しましょう。

職場では

朝礼や会議などの機会を利用し、道路情報を共有するなど、安全運転を実践しましょう。

地域・町内では

冬道の危険な場所や交通量の多い交差点などで、スピードダウンやスリップ事故防止を呼びかけましょう。

夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

運転者の皆さんは

夕暮れ時から夜間には、歩行者などの発見がしにくくなるので、交差点では徐行するなど、しっかりと安全確認をしましょう。

家庭では

夕暮れ時や夜間に外出するときは、明るい服装と夜光反射材を着用しましょう。

学校では

自転車の通行方法や夜間における前照灯の点灯など、自転車の正しい利用の仕方を身につかせましょう。

職場では

デイ・ライト運動の周知を図るとともに、早め点灯を徹底し、安全運転を実践しましょう。

地域・町内では

夜光反射材の普及と着用の促進に努めましょう。冬道での自転車の運転を控えましょう。

飲酒運転の根絶

運転者の皆さんは

飲酒運転は悪質な犯罪であるとの認識をしっかりと持ち、二日酔い運転を含めた飲酒運転の根絶を図りましょう。

家庭では

飲酒運転の悪質性や交通事故の悲惨な結果を話し合い、家族ぐるみで飲酒運転の根絶を図りましょう。

学校では

飲酒運転の危険性や責任の重大さをしっかりと認識させましょう。

職場では

企業の責任として、ハンドルキーパー運動を展開するなど、飲酒運転の根絶を図り、飲んだら乗るな、飲むなら乗るなを徹底させましょう。

地域・町内では

酒類を提供する飲食店などでは、運転者への酒類提供を禁止し、飲酒運転の根絶を図りましょう。

居眠り運転防止～2時間毎に休憩しましょう～

デイ・ライト運動を実践しましょう。